

県政かわら版

2面 宝くじの購入は鹿児島県内で
3面 インターネットを安心して利用いただくために/各種手続きの窓口がより身近に
4面 情報ボックス/特産品プレゼント



奄美・琉球諸島を世界自然遺産へ

平成25年 世界自然遺産登録へ向けて大きな一歩を踏み出します

国は、奄美大島や徳之島などの自然が世界自然遺産にふさわしいとして、世界遺産暫定一覧表(国が今後推薦を考えている物件の一覧表)への掲載など、世界遺産登録に必要な作業を進めています。

県においても、平成28年6月の世界自然遺産登録を目指し、地元市町村とともにさまざまな取り組みを行っています。県民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

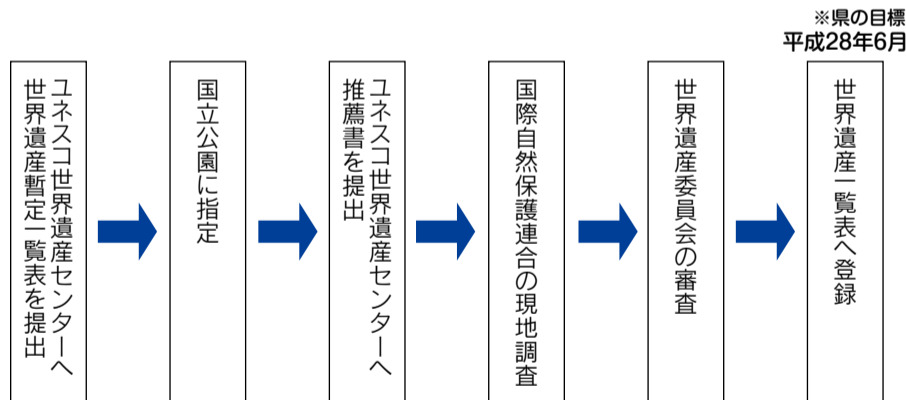
奄美市名瀬 金作原生林

世界自然遺産とは

人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引き継いでいくべき宝物のことです。誰の目にも明らかで際立っている地形や生物、景観などを持つ地域で、世界遺産条約に基づき、世界遺産委員会の厳正な審査を経て世界遺産一覧表に登録されます。

国内では、平成5年12月に屋久島および白神山地が初めて登録され、その後、知床や小笠原諸島が登録されています。

世界自然遺産登録への道のり



奄美群島の未来へ伝えるべき自然

奄美・琉球諸島は、大陸と陸続きになつたり、離れたりを繰り返して、多くの島々が散らばる現在の姿になりました。世界の亜熱帯地域に比べると例外的に雨が多いため、豊かな亜熱帯照葉樹林が分布しています。

このような地理的特性や気候などにより、太古の昔、大陸から渡ってきた生物がそれぞれの島々で独自の進化を遂げており、特定の地域にしかない固有種や希少種の重要な生息地・生育地となっています。

また、渡り鳥や回遊するクジラ類などの移動の中継地、海鳥の重要な繁殖地、ウミガメ類の産卵地として、地球上を広く移動する生物の重要な生活圏となっています。

○亜熱帯照葉樹林

モンスーンのもたらす降雨により、世界の亜熱帯地域の中でも限られた地域にしかない亜熱帯照葉樹林がみられ、貴重な野生生物の主要な生息地・生育地として生態系の基盤となっています。



©K.P.V.B
 mangrove原生林(奄美市住用)
日本有数の規模の mangrove原生林

○生物の多様性

アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、オオトラツグミなどの固有種や希少種、種の多様性に富むサンゴ礁の生態系が見られます。



オオトラツグミ
奄美大島だけに生息し、絶滅の恐れがある鳥



アマミノクロウサギ
奄美大島と徳之島だけに生息する固有種のウサギ



ケナガネズミ
奄美大島、徳之島と沖縄本島だけに生息する希少なネズミ

世界自然遺産登録に向けた課題と取り組み

1. 法律による保護

多くの固有種、希少種が生息・生育する亜熱帯照葉樹林を守るため、国立公園の指定や森林生態系保護地域の設定についての協議・検討が国で進められています。

2. 遺産候補地としての価値の維持

希少野生生物を保護するために、外来種であるマングースや野生化ヤギなどの駆除、野生動物の交通事故対策などを実施しています。

3. 住民の理解と協力

地域住民の方々に国立公園や世界自然遺産、奄美の自然などへの理解を深めていただくため、勉強会や公開セミナーの開催、パンフレットの配布などによる普及啓発に努めています。

4. 沖縄県との連携

鹿児島県と沖縄県の両県で定期的に会議を開催し、情報を共有するなど連携を図っています。

問い合わせ先 県庁自然保護課 ☎099(286)2613

※県政かわら版は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は鹿児島県身体障害者福祉協会 ☎099(228)6271 までご連絡ください。